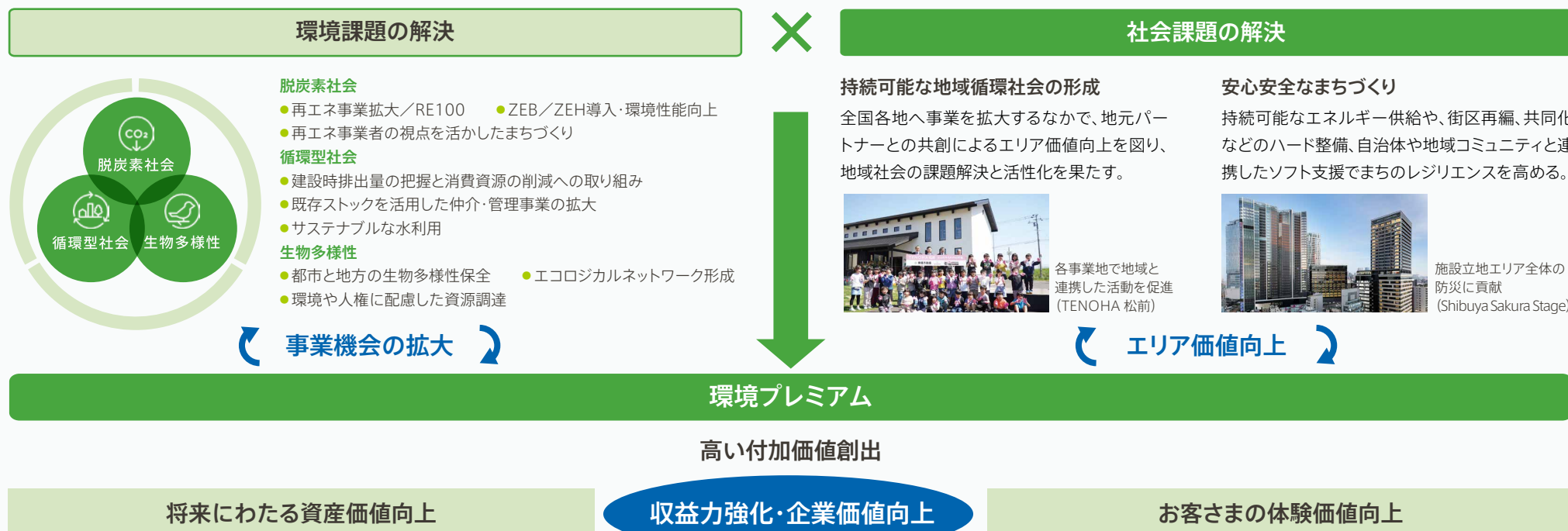


環境先進の強みに社会課題の解決を掛け合わせ、 プレミアムな価値の創出へ



全社方針「環境経営」は、「脱炭素社会」「循環型社会」「生物多様性」の3つの環境重点課題のもと、グループのバリューチェーンを活かしながら、ステークホルダーとともに環境価値を創出しています。

中期経営計画2025（以下、前中計）においては、重点課題の解決に包括的に取り組み、環境を起点とした事業機会の拡大を図ってきました。SBTネットゼロ認定の取得や、CDP気

候変動の4年連続Aリスト選定、国内事業会社として初となる東急不動産のRE100目標達成および正式認定など、数多くの外部評価を獲得し、独自性のある「環境先進企業」としてのブランド力を構築してきました。また、再生可能エネルギー事業を自社グループで展開するなど当社ならではの強みを活かし、環境課題をビジネスに転換することで、幅広いお客さまへの提案と事業機会の創出、パート

ナー共創を行ってきました。

中期経営計画2030では、前中計で強化された環境先進の強みと、社会課題解決を掛け合わせることで、「環境プレミアム」を創出していきます。

環境課題の解決を、持続可能な地域循環社会の形成や安心安全なまちづくりのようなエリア価値向上に向けた視点を組み込むなど、一体的に取り組むことで、将来にわたる資産価

値やお客さまの体験価値の向上に資する高い付加価値を生み出し、収益力の強化と企業価値向上を実現します。

社会性と事業性を両立する環境経営への積極的な事業活動が、市場でのプレゼンスを築き、未来社会をともに歩むパートナーとして選ばれ続ける企業となることをめざします。

環境プレミアムによる高付加価値の創出で収益力強化

「環境の強み×社会課題解決」で、収益力強化を実現

地域社会の持続可能な発展に環境配慮は不可欠です。当社グループは、環境の取り組みを起点とする高い付加価値である「環境プレミアム」の創出を収益力強化につなげる環境経営を推進しています。

環境先進を強みに事業機会の拡大を図るとともに、都市と地方それぞれの社会課題の解決へと積極的に取り組んでいます。その2つの掛け合わせから特別な体験価値を生み出し、環境プレミアムが付与された商品・サービスを、より優れたものとして受容する意識を世の中に醸成し、市場開拓をリードしていきます。

Case 1 街の緑をつなぐ、人と自然をつなぐ

広域渋谷圏は、日本のみならず海外からの訪日外国人が多く、街は活気にあふれにぎわいのある一方、休憩が可能な滞留空間不

足が課題でもあります。

東急プラザ表参道「オモカド」・東急プラザ原宿「ハラカド」では、広域渋谷圏におけるエコロジカルネットワークの形成に寄与し、両施設の屋上には、緑化を施した広場を設置しています。

都心において貴重な緑のある憩いの場にカフェを併設した、“ひとやすみ”ができる広場は、広域渋谷圏における滞留空間を創出し、街の回遊における滞留時間の延伸に貢献しています。

それにより、両施設がこの街に他にはないシンボルとして確立され、来場者の増加と施設のシャワー効果による販売促進を生み出し、お客さまの体験価値と収益の向上につなげています。

Case 2 持続可能な農業と脱炭素、地域共生を実現

「リエネソーラーファーム東松山太陽光発電所」は、農地に太陽光発

電設備を設置し、農業と再生可能エネルギーの普及を両立させた営農型太陽光発電事業です。高齢化による農業生産者の減少や耕作放棄地の増加といった地域の農業課題の解決に貢献しています。近隣に開設した「TENOKA 東松山」では、コワーキングスペースや、太陽光パネル下の農地で収穫された作物を積極的に取り入れたカフェを併設。地域の方々に気軽に利用してもらうことで、サステナブルな体験も提供しています。

また、田植えや収穫体験といったイベントを通じたグループ社員とご家族への環境教育のほか、パートナー企業と連携し最適な発電量を確保するための検証、作物の生育データを収集・分析し営農の実証にも取り組んでいます。加えて、「TENOKA 東松山」で説明会の開催や展示を行うなど、外部に向けて再エネ事業の理解促進にも努めています。

Case 1 東急プラザ表参道「オモカド」 東急プラザ原宿「ハラカド」



東急プラザ表参道「オモカド」と6階「おもはらの森」



東急プラザ原宿「ハラカド」と屋上庭園

	Case 1	Case 2
環境課題への対応	生物多様性に配慮した都市緑化	再生可能エネルギーの普及
社会課題	まちの滞留空間の不足	耕作放棄地の増加、パネル敷設適地の減少、再エネ開発への地域理解
掛け合わせ	屋上×緑化×カフェ×ベンチやコンセント	再エネ×農業×地域連携×食育
高付加価値の創出	まちのシンボル化・来訪者増加・シャワー効果	グリーン電力としての付加価値向上・同様の農業課題解決を期待する自治体など、次の事業機会獲得・社員教育での活用

Case 2 リエネソーラーファーム東松山太陽光発電所 TENOKA 東松山



収穫体験イベントの様子



収穫した野菜を使用したカフェメニューを提供する「TENOKA 東松山」